

## 令和7年度第3回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時：令和7年12月22日（月） 午後2時から

開催場所：勝浦市役所 4階 大会議室

出席委員：別紙 出席者名簿のとおり（委員20名のうち16名出席）

欠席委員：長谷部委員、関委員、渡邊委員、紫関委員

事務局：勝浦市企画課（水野・忍足・植村）

オブザーバー：ランドブレイン株式会社（3名）、三ツ矢エミタスタクシーHD株式会社（1名）

### 会議次第

1. 開会
2. 報告  
(1) デマンドタクシー利用者アンケートの結果について
3. 議題  
(1) 「ノッカルかつうら」有償化について
4. その他
5. 閉会

### 1. 開会

### 2. 報告

#### (1) デマンドタクシー利用者アンケートの結果について

##### 【説明】

- ・オブザーバーより、資料に基づき説明

##### 【質疑応答】

(委員)

利便性が向上すればするほど、支援のない一般タクシーの利用が減る懸念があるが、今後のサービス調整をどう考えるのか。

(事務局)

公共交通の軸は、路線バスやタクシー事業者であると考えている。デマンドタクシーの利便性向上は利用の効率化を図りコスト削減に繋げることにある。一般タクシーについては、市として高齢者向けタクシー利用券の補助等を通じて別途支援を継続する考えであり、デマンドタクシーだけで完結するとは考えていない。今後も両者の役割分担を考慮しながら施策を進めていく。

(会長)

事務局としては、このアンケート結果をどう受け止めているか。

(事務局)

アンケートの結果を通して、デマンドタクシー事業が、高齢者の通院や、買い物を支える移動の足として必要とされていることを改めて認識した。ただし、運行日や運行時間、便数、予約のオペレーション等が使いづらいという意見もいただいております、事業者と協議の上、それらの効率化を図っていく必要があると考えている。運行コストについては、持続可能なものとしていくためには、更なる改善の余地ありと考えている。

### 3. 議題

#### (1) 「ノックカルかつうら」有償化について

(事務局)

【説明】

・事務局より、資料に基づき説明

【質疑応答】

(会長)

今回の議題について、事務局より説明があった。1つ目が、有償実証運行を行うということ、2つ目が、運賃を500円と700円で実証するという、3つ目が、スケジュール、4つ目が評価基準であり、この4点についてご意見ご質問等があればお願いしたい。

(委員)

チケット制を導入するとのことだが、10枚綴りで1枚サービスといった設定はあるのか。運賃の支払は、現金での支払いはできないのか。

(事務局)

現金収受によるドライバーの負担を避けるためチケット制を考えている。チケットは、額面通りで、基本的には、500円、700円のものを10枚綴りで販売したいと考えている。現時点において、割引等の設定はない。

(委員)

地区別で500円、または700円の運賃設定を行う提案だが、道路運送法第78条第2号許可を受ける場合は、国土交通省でいう実費の範囲というところの影響を受けられるが、これについては、どのように考えているのか。(資料には、近隣のタクシー運賃の約8割を目安とも記載されている)

また、運転手に応募いただいた方が、道路交通法の重大な違反等の履歴があつて、過去に飲酒運転で処分されたことがあるか無いかの部分をお調べになるのかどうか。

実証運行ということで伺っているが、無償では利用者がいるものの、有償化した際にそのまま利用者が来てくれるかどうか分からない。運行概要の最後には、辞める基準というのが出ているが、有償による実証運行の利用状況を見ずに、今日の会議で辞める評価基準まで決めて良いのか。

公的な地域公共交通事業計画の補助について、予定があるのかどうか。以上について事務局のお考えを伺いたい。

(会長)

1 点目、自家用旅客運送が道路運送法第 78 条第 2 号関係の範囲内かどうか。今は 500 円、700 円と予定されているが、上記の範囲かどうか。2 点目がドライバーの要件。3 点目が、評価基準を今議論するかどうか。4 点目が、公的補助を使う予定があるかどうか。以上 4 点について、事務局より回答をお願いしたい。

(事務局)

1 点目、各地区までのタクシー料金を、エミタスタクシー㈱に確認したところ、松野地区までは約 3000 円位、市野川までは約 6000 円位とのことである。実際にその約 8 割となると、3000 円の場合は 2400 円となり、利用者負担が過大になること、またノッカルは、路線バスの補完として考え、路線バスの運賃を参考に、利用者の負担感を考慮した料金に設定した。実際に総野地区のタクシー利用は、アンケートで聞いても、使っている方が少ない状況であるため、路線バスの運賃を基に金額を算出している。

(事務局)

タクシー運賃の約 8 割となると、今言ったように、2400 円位になる。そうすると実費とはかけ離れてしまう部分もあり、路線バスの運賃を基準に判断したい。また、デマンドについても 500 円で運行している為、そちらとの兼ね合いも考えている。距離的にも 500 円、700 円ぐらいが、実費の範囲内ではないかと、事務局では判断しました。

(委員)

1 点目について、エミタスタクシー㈱から運賃の徴収は高く、デマンドタクシーの運賃を参考にしたとのことだが、運賃の 8 割が範囲とのことから、一般タクシーに影響が出ないか、協議会内で諮ればよい。

(事務局)

2 点目は、ドライバーの登録の要件についてだが、登録要件が、①20 歳以上から 80 歳未満ということ②普通運転免許証の取得後 3 年以上経過しており、過去 2 年以内に免許停止処分がない方ということ③心身ともに健康な方で関係法令等遵守し安全運転に努めていただける方というのが、ドライバーの要件にも明記しております。また、登録後には大臣認定講習を受講していただくことになります。

(委員)

運転手募集の要件というものが、前回の協議会で配られたが、それを今回の有償化においても同様に実施するということでよいのか。資料はないが、ドライバーに対し、誰でも OK ではないということ、有償化になっても行うということによいか。

(事務局)

その通りである。3 点目の、評価基準の件については、何らかの評価指標がないといけないと考え、今回の段階で提案させていただきました。現状としましては、1 運行当たり、輸送人員の総輸送人員が、ノッカルで 115 人、総運行回数が 80 人。1 運行の総輸送人員が 1.4 人となり、今現在で言うならば、基準はクリアしております。稼働率は、実績運行回数が 82、計画運行回数が 480 であるため、17.1%の稼

働率となり、基準値からは下回っている状況であります。

下回っている理由としては、ノッカルダイヤで言うと、「小湊バス乗り継ぎ便」と、「直通便」という2つのダイヤ設定あり、「小湊バス乗り継ぎ便」についても計画の回数に含まれております。それを含めた17.1%である。参考数値になるが、実際に主に使われているのは直通便で、総野地区から勝浦までの計画運行回数は、192である。実績運行回数の82であるため、42.7%で、稼働率的には30%を超え、クリアしております。今までの利用形態から見ると、直通便に利用が偏る実態があり、今回の提案は、一旦、乗り継ぎ便を無くすこととするが、地元の声として乗り継ぎ便の需要があるならば、それについても取り入れたい考えはある。

(委員)

事務局の説明は理解しました。質問としては、今回、実証運行を、すぐに有償化本格運行に転換するのでないならば、有償実証運行スケジュール案ということになる。有償化にして、どのぐらいの利用があるかを見るために行うのが実証運行ではないか。本格運行をこの協議会で決定する前に、いわゆる廃止にかかる指標を、今、何もわからない中で決めていいのかという部分である。これについて、事務局から返答がなかったので伺いたい。

提案であるが評価基準に、廃止の基準ではなく、実験の目標値という形で示すならばよいと思う。実証前に、どのぐらいの利用があるかもわからない中で、廃止条件を決めるのはどうかと思う。実証段階は、目標で良いと考える。急なご提案になり失礼な形にはなるが、ここで廃止の対象として書いているものについて、廃止基準ではなく目標値ということをお願いしたい。

(会長)

その点については会長一任で、評価基準から目標値に変更とする。

(事務局)

4点目の公的補助についてだが、今現在、国のデジタル田園都市国家構想交付金（第2世代交付金）を活用しており、暮らしを支える地域モビリティ・ミックス推進事業の2年目を迎えている状況である。来年度まで、その交付金を活用する計画になっております。その後については、国交省等の交付金の活用を検討しながら、運輸支局とも相談し、より良い公共交通に繋げていければと考えている。

(委員)

それもあるが、千葉県等でも補助メニューを検討しているので、利用できるものがあれば相談し、より良いものとしてほしい。

(委員)

内容には異論はない。国の補助金を検討されているとの話がでたが、県の補助金に、地域公共交通のり・デザイン推進費用というものがある。国の補助率は手厚いが、県のり・デザインも補助率1/2、上限1千万円からとなっており、こちらも実証の方で補助の対象になる可能性がある。国の補助金の状況次第だとは思いますが、中長期的に、こちらも合わせて利用のご検討をいただきたい。今年度と同額程度予定しており、予算的には余裕があると思う。

(委員)

今回ご検討いただいている中で、路線バスの運行が無い時間帯に、自家用車等で自宅近辺まで運行していただけるということでお話があがっているが、やはり懸念はある。路線バスのルートと被っており、路線バス利用の一定数がノッカルにシフトする可能性がある。結果を見て、路線バスの利用者が減り、影響が出た場合は、意見させていただく。

(事務局)

考慮する。その辺については、小湊バスから、利用者数の増減的なところのデータを補足していただけると幸いである。

(委員)

高齢者支援課では、80歳未満の高齢者に向けて、高齢者のタクシー利用料助成事業という形で、1枚400円で年間24枚配布をしている。ノッカルにも利用券を使用できるのかどうか。また、もし使えないのであれば今後は利用できるようになるのか。

(事務局)

今回の実証運行では、利用する方の費用負担の感想を聞きたいと考えている。その為、高齢者のタクシー利用券は併用できないとした形で検証する。それを行った上で、利用者の意見を踏まえ、今後の併用については必要性を検討していきたい。

(会長)

今の話では、タクシー利用券は民間のタクシーでは使えるが、ノッカルでは使えないということで、差別化するということである。

(オブザーバー)

先程も発言があったが、本来、タクシーであれば約3000～6000円もらえるところを、500円、700円で移動できてしまうということで、本来のタクシーの需要を奪われると危惧している。その辺については、配慮いただけるような方向でご検討をお願いしたい。

(事務局)

その辺については、改めてご相談させていただきたい。

#### 【議決】

- ・議題（１）「ノッカルかつうら」有償化における評価基準（P21）を目標値とすることについて、会長一任することについて
- ・異議なし、承認
- ・議題（１）「ノッカルかつうら」有償化についての内容全体について
- ・異議なし、承認

#### 4. その他

##### 【説明】

(事務局)

11月に、市内の小学校（5校）を対象とした路線バスの乗り方教室を実施しました。報告については次回の会議で行う。

12月には、公共交通を活用したお出かけツアーを小学生向けに実施しました。お出かけツアーについては5組15名の方に、参加していただいた状況である。こちらのアンケート調査も今取りまとめている状況であり、次回の会議の際に報告する予定である。

次回会議については1月下旬を予定しております。

##### 【質疑応答】

・質疑なし

#### 5. 閉会